

**令和 8 年度 第 2 回
門真市教育委員会点検・評価検討委員会 会議概要**

開催日時 令和 8 年 8 月 7 日（金）10：00～10：20
開催場所 門真市役所 本館 4 階 委員会室
出席者 野田文子委員、新谷龍太郎委員
（委員長は野田文子委員、副委員長は新谷龍太郎委員）
事務局 三村教育部教育監、十河教育部次長、高山教育部総括参事、清水教育総務課長、隈元教育企画課長、太田学校教育課長、向井学校教育課参事、岡田学校教育課参事、永田教育総務課長補佐、姫路教育総務課係員
傍聴者 なし
議 事

野田委員長

定刻となりましたので、ただ今から、令和 8 年度第 2 回門真市教育委員会点検・評価検討委員会を開催いたします。

本日はご多忙にもかかわらず、ご出席いただき誠にありがとうございます。それでは、本日の出席者数の報告を事務局からお願いします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

それでは、出席者の報告をさせていただきます。本日全委員の方にご出席いただいております。門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則第 5 条第 2 項の規定にあります過半数の出席の要件を満たしておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

野田委員長

ありがとうございます。では続いて、本日の進め方と資料について、事務局より説明をお願いします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

本日の進め方ですが、第 1 回点検・評価検討委員会で、各実施施策のシートへの指摘・修正等は特にございませんでしたので、点検・評価検討委員の皆様よりいただきましたご意見・ご助言を中心に確認していきたいと思っております。

まず、事務局より、意見・助言を読み上げますので、委員の皆様より新たに補足、訂正、追加等がございましたらご発言いただきたいと思います。

そして、報告書のすべての項目が終わりましたら委員の皆様からいただいております「全体についての意見」を、事務局より読み上げますので、こちらにつ

きましても、補足、訂正、追加等をお願いしたいと思います。

報告書の後半部分、101 ページから資料編、103 ページから門真市開発的生徒指導について、107 ページから門真市版授業スタンダードについて、109 ページから門真市版家庭学習の手引き、111 ページから授業づくりベーシック、113 ページから門真市学びのススメ、119 ページからが用語解説となっておりますのでよろしくお願いします。以上です。

野田委員長

ありがとうございます。ここまで、進行方法や資料についていかがでしょうか。それでは対象となる実施施策について意見・助言の確認を行いたいと思います。事務局よりよろしくお願いします。

事務局（姫路教育総務課係員）

それでは 99 ページをご覧ください。施策の方向 1、確かな学力の育成における実施施策（2）学力向上に向けた基盤づくりについて、前回点検評価検討委員の皆様よりいただきました。ご意見・ご助言を読み上げさせていただきます。

まず 1 つ目、全国学力・学習状況調査における中学校国語の結果を踏まえ、課題を分析するとともに、効果的な指導方法や具体的な手立てについて引き続き検討していただきたい。

2 つ目、伴走チームによる学校支援については、取組を通じて得られた成果や課題を踏まえ、より効果的な支援が行えるよう、伴走チームの体制及び予算の継続・拡充について検討していただきたい。また、学校活性化推進補助金についても、各校での活用状況や必要性を踏まえ、適切な規模について検討していただきたい。以上です。

野田委員長

それでは、ご意見はございますでしょうか。

新谷副委員長

私のほうから少しよろしいでしょうか。第 1 回の際に、中学校国語の結果について触れましたが、令和 5 年から令和 7 年の比較ですと、どの教科も大体下がってはいるのですが、特に令和 6 年と令和 7 年を比較した際に、小学校算数と中学校国語が低下傾向にあるということで、これは門真市だけに限らず、全国的に中学校国語の読み取りに課題があるということも踏まえて、ここでは中学校国語について指摘をさせていただいております。小学校算数につきましては、若干上げやすいという教科の傾向もありますので、特に中学校国語だけをここで取り

上げたという理由を付け加えておきます。

野田委員長

ありがとうございます。私のほうからは、内容は非常によく分かりやすく、まとめていると思います。2点目について、「伴走チームによる」と続いているが、「伴走チーム」という文言は2行目にもありますので、2行目の「伴走チームの」は取っておいて下さい。文言の修正のみです。

それでは、続いての実施策について事務局よりお願いします。

事務局（姫路教育総務課係員）

続きまして、99 ページの施策の方向1、確かな学力の育成における実施施策（4）小中一貫教育の推進について、ご意見・ご助言を読み上げさせていただきます。

まず1つ目、小中一貫教育の推進に当たっては、学校規模や校区の実情を踏まえ、9年間の学びのつながりや接続をより意識して取り組んでいただきたい。

2つ目、9年間を見通したカリキュラムの推進に加え、児童生徒一人ひとりの学びの積み重ねや特性を生かした個別の学習計画の視点も大切にし、学習ログや成果物とICTも活用しながら継続的に記録・活用する仕組みについて検討していただきたい。以上です。

野田委員長

はい。ありがとうございます。それでは、ご意見はございますか。

新谷副委員長

この議事録は一般に公開されるものということを踏まえまして、2点目、「学習ログ」でなく、「学習履歴（ログ）」という形で、少し補記いただくといいと思います。

野田委員長

私のほうからは特段ありませんが、少しニュアンスとして申し上げますと、1つ目の「小中一貫教育の推進」について、「学校規模や校区の実情を踏まえ、9年間の学びのつながりや接続を」と続いていて、文章としての流れはいいのですが、「学校規模や校区の実情」というあたりについては、門真市の苦しみや悩みは校区ごとに異なるだろうという思いがありますので、委員会でお話したときには、一般的な言葉として申し上げたつもりではありませんでした。文章としてはこれでよいと思いますし、シンプルなので修正しようがないとも思います

が、「実情を踏まえた上で」とするなど、何か少し表現を強めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、続いての実施策について事務局よりお願いします。

事務局（姫路教育総務課係員）

承知いたしました。続きまして、99 ページの施策の方向 2、すべての子どもへの学習の支援における実施施策（2）不登校児童生徒への支援について、ご意見・ご助言を読み上げさせていただきます。

1 つ目、不登校児童生徒の増加傾向を踏まえ、校内教育支援ルームや門真市教育支援ルーム「かがやき」において、安心して過ごせる居場所づくりを進めるため、多様な人材の配置や充実した環境整備に必要な予算措置について検討していただきたい。

2 つ目、不登校児童生徒への切れ目のない支援に向け、学校外の居場所との連携を深めるとともに、学校と地域が連携した支援ネットワークの充実について検討していただきたい。以上です。

野田委員長

それでは、ご意見はございますか。

新谷副委員長

ございません。

野田委員長

ここについては私からも付け足しはございませんので、それでは、続いての実施策について事務局よりお願いします。

事務局（姫路教育総務課係員）

続きまして、99 ページの施策の方向 3、豊かでたくましい人間性の育みにおける実施施策（3）開発的生徒指導の推進について、ご意見・ご助言を読み上げさせていただきます。

発達支持的生徒指導への移行に当たっては、本市がこれまで培ってきた開発的生徒指導の理念を継承し、子どもの全体的な成長を支えるという生徒指導の原点を大切にしていきたい。また、日々の実践で培われた有効な指導方法やノウハウを生かしながら、より一層の充実・発展につなげていきたい。以上です。

野田委員長

ありがとうございます。

新谷副委員長

特にありません。

野田委員長

私からも特段ありません。それでは、続いての実施策についてお願いいたします。

事務局（姫路教育総務課係員）

続きまして、100 ページの施策の方向3、豊かでたくましい人間性の育みにおける実施施策（5）人権尊重の教育の推進についてご意見・ご助言を読み上げさせていただきます。

こちらは、多文化共生教育の推進についてのところで、日本語指導が必要な児童生徒の保護者に対し、保護者会等での通訳者派遣や必要な支援制度等に関する情報提供など、保護者支援を含めた取組の充実を検討していただきたい。以上です。

野田委員長

はい、ありがとうございます。それでは、ご意見はございますか。

新谷副委員長

特にありません。

野田委員長

私からもありませんので、それでは続きまして、次の実施施策についてお願いいたします。

事務局（姫路教育総務課係員）

はい。では続きまして、100 ページの施策の方向6、学校の組織力向上と開かれた学校づくりにおける実施施策（1）学校組織の改善と「チーム学校」としての組織力の強化についてご意見・ご助言を読み上げさせていただきます。

こちらは、コミュニティ・スクールの推進のところです。学校運営協議会における熟議の質の向上に向け、多様な保護者や地域住民が参画できる対話の場づくりを進めるとともに、各校の実情に応じた熟議の在り方について引き続き検

討していただきたい。以上です。

野田委員長

はい。ありがとうございました。何かご意見はございますか。

新谷副委員長

付け足しをしていただきたいのですが、最後の「引き続き検討していただきたい。」の後に「協議の議題として「防災」のテーマも取り上げていただきたい。」という一文を加えていただければありがたいです。

事務局（姫路教育総務課係員）

「協議の議題として「防災」のテーマも取り上げていただきたい。」ですね。

野田委員長

はい。よろしいですか。私からは特段ございませんので、それでは、続きまして、次の実施施策についてお願いいたします。

事務局（姫路教育総務課係員）

はい。では、最後 100 ページの施策の方向 7、安全・安心・快適な学びの場づくりにおける実施施策（1）学校施設の改善について、ご意見・ご助言を読み上げさせていただきます。

体育館への空調設備の設置については、児童生徒の安全確保の観点から、計画に基づき、できる限り速やかに整備を進めていただきたい。以上です。

野田委員長

はい。ありがとうございます。ご意見はございますか。

新谷副委員長

特にありません。

野田委員長

私からも特段ありません。それでは、全体についての意見です。全ての項目が終わりましたので、全体についての意見について、事務局よりお願いします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

はい、全体についての意見です。100 ページの下です。1 つ目が、各施策が着実に前進していることや、本市独自の取組により教育環境の充実が図られていることを評価します。引き続き、教職員が P D C A サイクルを着実に実績し、教育活動の改善につなげられるよう必要な予算及び人的体制の確保について検討していただきたい。

2 つ目が、情報機器の活用にとどまらず、情報の真偽を判断する力や論理的思考力など、情報リテラシーを育成する視点を教育全体に位置付け、情報を活用する能力の向上に取り組んでいただきたい。

3 つ目が、読書量や読書時間だけでなく文章を読み取り、想像し自ら考え表現する力を育むことを重視した読書教育の充実に取り組んでいただきたい。

最後、4 つ目が、子どもを中心とした視点で各施策が進められていることを評価するとともに、新たな教育振興基本計画に基づき、引き続き取組を着実に推進していただきたい。以上です。

野田委員長

はい。ありがとうございます。ご意見はございますか。

新谷副委員長

2 つ目の項目の情報リテラシーのところですが、情報リテラシーの前に少し付け足しをお願いします。「生成 A I の使用の仕方も踏まえた情報リテラシー」と加えていただければと思います。

事務局（姫路教育総務課係員）

「生成 A I の使用の仕方も踏まえた情報リテラシー」ですね。

野田委員長

以上でよろしいですか。

新谷副委員長

はい。大丈夫です。

野田委員長

私も、生成 A I を入れていただこうと思っていたのですが、さらに同じところの最後の「情報を活用する能力」という部分を「情報を適切に」と、「適切に」という言葉を入れていただきたいと思います。

事務局（永田教育総務課長補佐）

「情報を適切に活用する能力」ですね。

野田委員長

そうです。AIが入ってくると、「適切」という言葉が大事になってきますので。それでは、よろしいでしょうか。私からは、その1つだけです。

さまざまなご意見ありがとうございました。本日、いただいた意見も取り入れまして、点検・評価報告書を作成させていただきます。会議につきましては、本日が最後ですが今後の報告書作成の流れを事務局よりお願いいたします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

はい。今後の流れについてであります。まず、本日のご意見を事務局でまとめさせていただき、加筆・修正のうえ、点検・評価検討委員の皆様へ送付させていただきますのでご確認をお願いいたします。点検・評価検討委員の皆様より、ご確認いただけましたら、事務局の方で報告書を完成のうえ、答申とさせていただきます。

その後、8月25日に教育委員会定例会がございますので、こちらに議案として諮り、可決の運びとなれば、9月の市議会に提出をさせていただきます。その後、点検・評価検討委員のみなさまには、完成後、点検・評価報告書を送付させていただきます。以上が今後の流れでございますので、よろしくお願いいたします。

野田委員長

ありがとうございました。それでは、本日の案件は以上です。新しい進め方になりましたことと、シートの修正、加筆が特段なかったということ、そして今回、非常に文書がよくまとめられていたということもあり、非常にスムーズな会議にできたと思います。どうもありがとうございました。先生から何か一言ございますか。

新谷副委員長

細かいところですが、102ページの資料編のところの、「用語集」という文言の上だけ行間がすごく空いている感じがするのでご確認ください。以上です。

事務局（姫路教育総務課係員）

修正いたします。

野田委員長

では、これにて門真市教育委員会点検・評価検討委員会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。